

島おこし協力隊ミッション

ミニコラム 15

「地域みらい留学 学校説明会 スタート」

弓削高校魅力化コーディネーターの河村です。

今年も全国から入学生を募集している弓削高校で、「地域みらい留学生」の募集活動が始まりました。

地域みらい留学とは、主に都市部に在住する中学生が親元を離れ、地方の高校に進学すること。令和6年4月現在、約140の公立高校が生徒の全国募集を行っています。



▲地域みらい留学

弓削高校は、令和2年度から留学生の受け入れを開始し、昨年度までの4年間で13人の留学生を受け入れてきました。

5年目となる今年度は、過去最多の18人が入学。学生寮「ゆめしま寮」が整備され、島内の自然や学校行事の魅力に心惹かれた若者たちが、弓削高校に集まってきました。留学生たちは、上島町の魅力を見つけようと先生と共に町内を散歩したり、週末には地域イベントに参加するなど、上島町での暮らしを満喫しています。

5月からは来年度の地域みらい留学生を迎えようと、オンラインによる学校説明会を開始。月曜日と金曜日の放課後には担当教諭と

生徒たちが校内の会議室に集まり、受験生に向けて、授業や部活動での取り組みや寮生活について紹介しています。

5月24日には、他県の学校と合同で説明会を実施。北海道や新潟、鹿児島県の種子島、屋久島など、全国の離島にある高校が集まりました。各校が特色を示す中、弓削高生たちは「上島町は景色がきれいで地元の人たちがとても温かい」「弓削高校は授業が少人数で受けられ、理解度が深められる」など、魅力を笑顔でPRしました。



高校魅力化コーディネーター
河村 俊秀

オンラインでの

学校説明会は10月まで続き、8月24、25日には東京において対面説明会が行われます。「新たな舞台で挑戦したい」と意気込む若者を、弓削高校の先生方、生徒たちとともに上島町へ呼び込んでいきたいと思ひます。



▲上島町の魅力をオンラインで伝える教員と生徒たち



▲昨年8月に東京で開催された地域みらい留学生の説明会



▲参加者たちに笑顔で手を振る生徒たち

島おこし協力隊（公営塾）



上島町のみなさま、初めまして。4月から新しく島おこし協力隊、ゆめしま未来塾の講師として着任いた

ゆめしま未来塾に着任しました

しました大下風歩と申します。広島県の江田島市出身、島生まれ島育ちです。

江田島市でも通学や買い物などで島外に出るために、よく車で橋を渡ったり、船を利用しており、上島町と環境が似ているなど、大変親近感がわいています。

大学生のころから関心のあった高校魅力化プロジェクトに、ゆめしま未来塾スタッフとして携わることができ、大変うれしく思っています。

生徒とのコミュニケーションを大切に、勉強や進路実現のサポートを精一杯行ってまいります。いたらぬ点も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ゆめしま未来塾
大下 風歩

島おこし協力隊（鳥獣被害対策・ジビエ振興） あたふた日記⑤ “1st anniversary”

鳥獣被害対策・ジビエ振興担当の藤原でございます。

昨年の4月2日が上島町上陸記念日!とりあえず「移住一周年、おめでとう~!」って感じです。振り返ると、上島レジェンドの師匠と山へ出勤し汗まみれ泥まみれになりながらの指導のおかげで狩猟免許を取得、プロフェッショナル養成ジビエセミナー受講に全国各地を飛び回り、専門的な技術や知識を習得させていただくことができました。そして何より大きな実りとなったのは、上島町産イノシシ肉「ゆめしまジ

ビエ」のブランド化に参画させていただけたことです。知名度はまだまだですが、これからグイグイいきまっせ~。そう言えば以前、マーケティングの勉強をしていた時に、日本人は力行とサ行で始まって母音がアで終わる音が好きなのを思い出しました。なじみの「カローラ」「ゴジラ」「コカ・コーラ」「スタバ」「サイゼリヤ」...などなど。どれどれ「ゆめしま」は...ヤ行ではないか?!ちなみに「かみじま」は...バッチリじゃあ~!!上島町産ジビエは盛り上がることに間違いなし!ということに

しておきましょう。

さて、帰って移住一周年を口実に芋焼酎の「きりしま」で祝杯だ。

合掌



島おこし協力隊
藤原 隆司

島おこし協力隊（サイクリング振興） 「自転車の可能性 上島町の宝さがしイベント」

こんにちは!サイクリング振興の豊田です。今回は4月に開催された「サイクリング宝探し」について紹介します。このイベントは、上島町に移住された高山さんとその友人（中国：上海）が企画されたもので、自転車で島を巡り、上島町の魅力（=宝）を発見しよう!というものです。上海から16名、弓削高生や商船学生、そして町民の方が案内役としてチームを構成しました。

宝さがしの課題は、「海上を飛ぶ魚を発見する」「島から聞こえる面白い音を録音する」など、とてもユニークなもので個性や感性を活かし力を合わせて探します。ここで問題なのが言語。日本語を話せる

方はいるものの、飛び交うのは中国語・英語で、あたふたしてしまう場面もありました。それでも皆さんエネルギーで、ひとつひとつのことに対しとても関心をもち、なんとか伝えたい、知ってほしい!と一生懸命になり、すぐに打ち解けることができました。宝さがしの後には、町のグルメを囲み、宝さがしで見つけた写真や動画を共有し合い、それぞれが感じたことを発表しました。伝えたいことを互いに共有できた時の感動と、美味しい食事相まって、交流会は大盛況でした。

今回は、自転車だからこそ新しいつながり、仲間との出会いや交流ができたので、今後の自転車の可能

性と、これからのヒントを感じたとても楽しい体験でした。



▲宝探しの共有、交流会の様子



島おこし協力隊
豊田 遥